

文献 7

Gentil, Luiza Borges. Treatment of sport injuries with acupuncture: a literature review. Revista Brasileira de Medicina do Esporte. 2018; 24(4): 316-321.

1. 目的

スポーツ外傷・障害に対する鍼治療の有効性を評価する。

2. 研究デザイン

レビュー

3. データソース

PubMed データベースと Cochrane データベース。期間：2012 年 1 月 22 日～2017 年 1 月 22 日
検索語：acupuncture、sports、injuries

4. 研究の選択

除外基準：1) 鍼治療でない、2) 研究以外の目的で鍼治療を用いている。

PubMed データベースから 41 編、Cochrane データベースから 8 編が抽出。記載内容を吟味し最終的に 11 編を選択。

5. データ抽出・統合

各論文の研究デザイン別（症例報告、臨床試験、文献レビュー）でレビューした。

6. 主なアウトカム・測定尺度

臨床研究では、対象となった傷害数、鍼治療患者数、効果を示した数。文献レビューでは、選択した文献数、対象患者数、有効性の概要

7. 主な結果

- ・症例報告 2 編、臨床研究 3 編、文献レビュー 6 編がレビューの対象となった。
- ・症例報告（2 編）：①足背部のガングリオンを訴える 45 歳サイクリストに対して鍼通電治療を 4 回行い、ガングリオン消失。②試合中に負傷した左肘痛と浮腫を訴える 41 歳バスケットボール選手に対して鍼治療を行い、痛み消失。
- ・臨床研究（3 編）：①スポーツ外傷・障害を有する患者 41 人に対してレーザー治療（2～10 回）を実施し、27 人（65.9%）に疼痛スコアが 5 以下に変化し効果が認められた。②慢性外側上顆炎の 36 人の患者に対して鍼通電（週 1 回で 4 週間）を実施し、治療終了時には 31 人（86.1%）に疼痛の軽減がみられた。③鍼治療を行ったバレーボール選手 151 例について分析がなされ、103 人（68.2%）に効果がみられた。
- ・文献レビュー（6 編）：4 編のレビューに選択された文献は 198 編（6 編のうち 2 編は、選択された文献数の記載なし）。分析された総患者数は 6508 人（6 編のうち 3 編は患者数の記載無し）。各レビューの有効性についての記載では、腱障害の症状改善、外側上顆炎の症状と機能の改善、鍼治療とその他の治療の併用療法が腰痛や肩関節インピンジメント症候群に効果あり、慢性痛に対して治癒過程の短縮や QOL を改善することが示されていた。

8. 結論

症例報告、臨床試験、文献レビューによりスポーツ外傷・障害に対する鍼治療の有効性が示された。

9. 論文中的安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

スポーツ分野の鍼治療に関するレビューは、スポーツ選手やスポーツ分野に携わる医療関係者にとって鍼療法を治療の選択肢として検討する上で有益な情報となる。システマティックレビューの多くは RCT を選択基準として含めているが、本研究では、RCT でない臨床研究や症例報告も含まれている。また本研究の介入にはレーザー鍼も含まれている。鍼療法の有効性を吟味する場合は、十分に注意する必要がある。

11. Abstractor and date

近藤 宏 2021.3.1